

# 核兵器廃絶、平和を願う声を今こそ大きく！

## 被爆者救済の理念にそって原爆症認定制度の改定を

### 被爆の実態に沿った

### 原爆症認定制度の抜本改定を

「私の病気を原爆によるものと認めてほしい」と被爆者が原爆症認定却下処分の取り消しを求めて裁判を起こして（集団訴訟）5年が経ちました。現在裁判をたかっている原告は全国で305人（15地裁、6高裁）。そのうち45人がすでに亡くなっています。

被爆者の生命をかけたたたかいと運動が政府を追いつめ、厚労省は、原爆が爆発した時に出る「初期放射線」の数値を機械的に当てはめ、被爆者を切り捨ててきたこれまでの基準（「原因確率」）を廃止し、新しい審査の方針を決めました。しかし、依然として爆心地からの距離や入市時期での制約を設け、新たな線引きがされようとしています。被爆の実態に沿った原爆症認定制度の抜本改定を国・厚労省に要求しましょう。原告全員の救済のために引き続き支援を強めましょう。

### 核兵器廃絶は世界の流れ

いま、国際社会では2年後に開かれるNPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて、米国の多数の国務・国防長官経験者やNATO加盟国の閣僚を含め、圧倒的多数の人びとが「核兵器のない世界」を共通の目標とし、行動に移すよう呼びかけています。これらの流れをさらに大きくしていくために、「すみやかな核兵器廃絶」を求める署名にご協力ください。

### 唯一の被爆国として

### 核兵器廃絶の先頭にたて

日本政府は被爆国なのに、国連総会で核兵器使用禁止決議にさえ賛成せず、アメリカ言いなりに、ミサイルやレーダーを配備し、原子力空母の配備さえ受け入れています。こんな政治を誰も望んでいません。その証拠に、福田政権の支持率がどんどん落ちていきます。今年7月に北海道洞爺湖で主要国首脳会議（G8サミット）が開催されます。議長国として日本政府が、核兵器廃絶を提唱するなど被爆国政府の役割をはたすべきです。

### 歩きつづけて50年

「核兵器のない平和で公正な世界」を求めて歩き続けてきた国民平和大行進が今年50周年を迎えます。5月6日、東京・夢の島、北海道・礼文島を出発します。

平和を願う気持ちを同じくするみなさん、一歩でも二歩でもご参加下さい。



## 原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4  
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033  
<http://www10.plala.or.jp/antiatom>